

武尚学友

市民大会（予選）・・・雑感

市民大会の予選（リーグ戦9試合）を終えました。この大会は歴史ある大会ですが、隣、市営浦和球場で全日程が行われることもあり、私達、市立浦和高校が事務局（大会運営）を任されています。

過去の通信でも書いていると思いますが、私は恩師・中村先生から以下のようなアドバイスを受けています。地元の高校（野球部）同士が仲良く協力し合うことはとても大事、公立と私立、部員の多い少ない（強い弱い）、今後違いはより顕著になると思うが、市民大会は仲良く戦うものであるようにすること。また浦和は「サッカーの街」、野球が存在意義を示すには、組織としてまとまっていないとダメ、そんなアドバイスも受けたと記憶しています。

市高は予選リーグで浦和工業高校と対戦しました。浦和工業高校は現1年生が最後の代、今後は生徒募集を行わず、彼らが卒業後、大宮工業高校と統合という形になります（拠点は工業高校）。現1年生野球部員は3名・・・後輩が入って来ないことが決まるとなると、来年のこの市民大会をどのような形にするか・・・その辺が（事務局としては）課題になります。また、再来年からの運営方法（10校→9校）についても考えていく必要があります。

今週末には決勝トーナメントが行われます。前年度優勝・浦和学院高校が登場、2位代表として勝ち上がった私達、市立浦和高校と対戦という形になります。

最近流行りの「下克上球児」になれるか（笑）。来シーズンにつながる戦いをしたいと思います。スタンドを無料開放していますので、ぜひ、観戦していただければと思います。よろしくお願い致します。

四地区交流戦・・・雑感

今年の夏、先日行われた四地区交流戦の監督を要請されました。その際、コーチ3名を登録できますが希望はありますか？そんな感じで聞かれました。（特になかったので）具体的な氏名等は答えず、生徒と一緒にベンチを盛り上げてくれる方をお願いしたい（私もそういうスタイルなので・・・）と答えました。

その結果（コーチとして）一緒に戦うことになったのが、

山田先生・・・埼玉栄
鈴木先生・・・大宮東
池田先生・・・立教新座 でした。

この大会には、1校1名選出というルールが存在しています。このルールである以上、各校の中心選手がメンバー入りするのは明らか・・・私が思うに、このような選手達はチーム内で常に結果を求められる（＝常にプレッシャーがかかっている）ポジションにいるのでは・・・そういう選手達に2日間、野球の楽しさを再認識させてあげたい、要請された当初、それがもっとも感じたことでした。

選手選考は捕手から決めていきました。夏の新人大会をスタッフ総出で観させていただき、3名の捕手を選出しました（1校1名であるため、捕手を選出した学校は投手がいくら良くても選べない・・・）。その後、投手の選出（投手は1試合3イニングまでしか投げられないというルール、2日で2試合行うので最低でも6名必要）を行いました。結局7名選出し、投手もできる野手を3名選出、投手は計10名で戦いました。

結果等は先日の通信で書かせていただいた通り・・・共に過ごした選手・スタッフに大変恵まれ、充実した2日間を過ごすことができました（試合も連勝しました）。

自チームの活動もある中、選手を派遣していただいた各校にこの場を借りて感謝申し上げます。

来年以降もこの大会が同じような形で実施されることを望みます。ありがとうございました。